

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページ

(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)



証券コード 6432

世界初から世界のTAKEUCHIへ

TAKEUCHI: From World First to World Leader



第50期 中間報告書

平成23年3月1日から平成23年8月31日まで

機種名 TB285

株式会社 竹内製作所

社 是

創造
Creation

豊かな感性をもって、
ニーズに応えた商品開発をする

挑 戦
Challenge

夢と若さをもって、
より高い目標に向かって
果敢に行動する

協 調
Cooperation

和と思いやりの心をもって、
調和の取れた社会との共生を図る

企業理念

世界初から世界の **TAKEUCHI** へ

- 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、**TAKEUCHI** のものづくりを追求します。
- グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

To Our Shareholders

株主の皆様へ



信頼の品質に磨きをかけて
マーケットニーズを
確実に捉えてまいります

TAKEUCHI

株主の皆様へ第50期の中間報告書をお届けするに当たりまして、平素より賜っておりますご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）におきましては、これまで高度成長を続けてきた中国経済が減速感を示し、建設機械の需要予想も横ばいから減少へと、厳しい見方になってまいりました。また、堅調を保っていたドイツ、フランスを中心とした欧州市場にも鈍化の兆しが見えるとともに、ギリシャなどのソブリン問題によって不透明感が増しています。米国経済も、引き続き住宅差押さえ問題が影を落とし、高止まりする失業率とも相まって経済成長の停滞が懸念されています。

こうした状況下ではありますが、当社が主力とする欧米のミニショベル、油圧ショベル、クローラーローダーの市場では、継続的な需要が顕在し、当社としましても、的確な販売戦略と生産方針を遂行することで、その需要を確実に捉え、売上を伸ばしております。同市場では、当社製品への信頼を背景としたブランド力の強さがユーザーの皆様の間で広く認

知されているため、販売価格を見直し、値上げを行いました。

現状の課題としては、米ドル、ユーロの為替相場が、急激な円高に振れていることです。この状況が当面は定着するとの見方もあり、円高下においても海外に挑み続ける当社としましては、世界のおお客様のご期待に応えるために、徹底した原価低減に取り組みます。また、その成果を、中国市場をはじめとした新興国市場においても、高い競争力として遺憾なく発揮してまいります。一方で、顧客ニーズに対応した、当社ならではの付加価値の高い新製品開発を強化し、さらなる成長を目指してまいります。

厳しい環境下でも、高い目標に向かって果敢に行動する当社の姿勢に揺らぎはございません。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

代表取締役社長 竹内 明雄

平成24年2月期第2四半期累計期間の概況

当社グループを取り巻く市場環境

当社グループの主力市場である米国、欧州及び中国市場の当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の経済は、米国におきましては、住宅差押物件の増加により在庫が高止まりし、住宅市場が軟調に推移していることと、東日本大震災に伴うサプライチェーン障害などにより個人消費が減速したことにより、景気の回復のペースは鈍化しております。欧州におきましては、ソブリン問題の拡大と、好調だったドイツとフランスの成長が輸出の伸びの鈍化により減速したことなどにより、先行き不透明感が高まってきております。中国におきましては、内需は旺盛で引き続き高い成長を維持しておりますが、物価の高騰は政府のインフレ抑制策の下でも収まっておらず、景気減速が懸念されております。

当社グループが属する建設機械業界におきましては、世界経済の緩やかな回復基調の中、前年同期と比較して米国及び欧州で需要は増加しましたが、中国におきましては、政府の金融引締めや不動産投資規制の影響を受けて需要は減少しました。

当第2四半期連結累計期間の業績

このような環境の中で当社グループは前年同期と比較して、米国及び欧州におきましてはミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの需要の増加により、当第2四半期連結累計期間の販売台数が増加しましたが、中国におきましては、ミニショベル及び油圧ショベルの需要の減退により、当第2四半期連結累計期間の販売台数が減少しました。一方、リーマンショック以降の持続的な円高により、当社グループ製品の利益率は低下しております。これらの状況に対処する

ため、当社グループは、部品の中国等からの海外調達及び設計の見直しによる原価低減を引き続き実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は販売台数が増加したことにより、205億6千1百万円（前年同期比11.9%増加）になりました。

利益面につきましては、円高により外貨建売上の円換算額が目減りしたことにより売上総利益率が悪化しましたが、販売台数の増加、製品の値上により、営業利益は4億2百万円（前年同期比49.4%増加）となりました。経常損益は、米ドル・英ポンド・ユーロ建資産について当第2四半期連結累計期間末の為替相場が、前連結会計年度末に対して円高になったことにより、5億9千3百万円の為替差損が発生し、1億8千7百万円の経常損失（前年同期は、4億5千1百万円の経常損失）になりました。四半期純損失は、税金費用を2億5千3百万円計上したことなどにより、4億7千万円（前年同期は、6億3千6百万円の四半期純損失）となりました。

通期の見通し

平成24年2月期の通期の見通しにつきましては、中国において、金融引き締め及び不動産投資規制の影響を受けて建設機械の販売台数が減少すること、及び、米ドル・英ポンド・ユーロの為替レートが円高に推移すると予想される一方で、米国及び欧州における建設機械の需要の増加が見込まれることから、売上高は前年度に比べて13.7%増加し、397億円になる見通しです。

利益の面では、営業利益は5億8千万円になる見通しですが、営業外費用において、円高により当社の外貨建債権及び中国子会社の円建債務に為替差損が9億9千2百万円発生することから、3億9千万円の経常損失になる見通しです。当期純損失は7億8千万円になる見通しです。

連結財務諸表（要旨）

貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期 平成23年 8 月31日現在	前 期 平成23年 2 月28日現在
【資産の部】		
流動資産	39,321	34,832
固定資産	7,853	7,910
有形固定資産	7,097	7,113
無形固定資産	266	280
投資その他の資産	489	515
資産合計	47,174	42,743
【負債の部】		
流動負債	20,647	15,958
固定負債	573	411
負債合計	21,221	16,370
【純資産の部】		
株主資本	28,644	29,114
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	21,382	21,852
自己株式	△3	△3
評価・換算差額等	△2,690	△2,741
その他有価証券評価差額金	△23	△5
為替換算調整勘定	△2,667	△2,735
純資産合計	25,953	26,372
負債純資産合計	47,174	42,743

損益計算書

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期累計 自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日	前第 2 四半期累計 自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 8 月31日
売上高	20,561	18,373
売上原価	17,831	15,784
売上総利益	2,729	2,588
販売費及び一般管理費	2,327	2,319
営業利益	402	269
営業外収益	67	63
営業外費用	657	784
経常損失(△)	△187	△451
特別利益	5	0
特別損失	33	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△216	△454
法人税、住民税及び事業税	232	92
法人税等調整額	21	89
四半期純損失(△)	△470	△636

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期累計 自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日	前第 2 四半期累計 自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 8 月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	△1,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	179
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,291	△676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	△193
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	788	△1,861
現金及び現金同等物の期首残高	8,717	7,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,506	5,173

トピックス

TOPIC

1

米国最大の国際建設機械見本市
「CONEXPO」に出展

2011年3月22日～26日の5日間、米国ラスベガスのLAS VEGAS CONVENTION CENTERで開催された国際建設機械見本市「CONEXPO-CON/AGG 2011」に、当社は数多くの製品を出展し、連日大変な盛況ぶりでした。特に開発中の「TB117E」は、高性能リチウムイオン・バッテリーを搭載し、世界で初めて全電気駆動式を実現したミニショベルとして高い注目を集めました。「CONEXPO」は、「BAUMA」（ドイツ）や「INTERMAT」（フランス）と並び、世界3大建設機械見本市のひとつで、3年に1度開催される米国建設業界最大のイベントです。



TOPIC

2

新型8.5トンモデル
「TB285/TB290」をラインアップ

2011年7月、従来モデルの「TB175」に代わり「TB285/TB290」を新機種としてラインアップしました。デザインを一新するとともに、性能、力強さ、快適性において、8.5トンクラス中最高のクオリティを目指しました。トータルバランスを重視し、高いメンテナンス性を有するマシンである一方で、強力な掘削力を誇るとともに常に安定した性能を発揮します。また、可動式サスペンションシート採用など、居住性と操作性を大幅に向上させています。



株式の状況 (平成23年8月31日現在)

発行可能株式総数	46,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	16,333,000株	株主数	9,072名

会社概要 (平成23年8月31日現在)

商号	株式会社竹内製作所	●役員の状況	
(英文社名)	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	代表取締役社長	竹内 明雄
本店所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地 (同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。)	取締役副社長	竹内 敏也
本社	〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205番地	専務取締役	依田 信彦
代表者	代表取締役社長 竹内 明雄	取締役	真壁 幸雄
設立年月日	昭和38年8月21日	取締役	神山 輝夫
資本金	3,632百万円	取締役	宮崎 義久
事業内容	建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売	取締役	衛藤 大輔
従業員数	427名	常勤監査役	久保 欣一
		監査役	森田 弘毅
		監査役	植木 芳茂
		(注) 常勤監査役久保欣一、監査役森田弘毅及び植木芳茂は、社外監査役であります。	

●主要な工場及び営業所

工場	営業所
村上工場 戸倉工場 千曲工場	長野県埴科郡 長野県千曲市 長野県埴科郡
	東京営業所 大阪営業所 名古屋営業所
	東京都港区 大阪市中央区 名古屋市中川区

●ネットワーク

日本	株式会社 竹内製作所
米国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG. (U.S.), LTD
英国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG. (U.K.) LTD.
フランス(販売子会社)	TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
中国(生産・販売子会社)	竹内工程機械(青島)有限公司

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター（当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店）を通じて販売を行っております。